



福山大学  
FUKUYAMA UNIVERSITY

# 学 報

2008.4.6 Vol.116

## 三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。  
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。  
生命を尊重し、自然を畏敬する。  
個性を伸展し、紐帯性を培う。  
未来を志向し、可能性に挑む。



## 特集

# リニューアルする 生命工学部



入学式 学長告辞	1
学習に取り組む前に	2~3
・経済学部	
・人間文化学部	
・工学部	
・生命工学部	
・薬学部	
生命栄養科学科新設	3
海洋生物科学科への名称変更	3
キャンパスライフへの指針	4~5
就職への取り組み	6
企業懇談会	6
合同企業説明会	7
インフォメーション	7
研究の今	8
学友会サークル紹介	9
学友会短信	10
国際交流瓦版	10
行事予定	11





# 白駒の隙を過ぎるが如し

平成20年度入学式 学長告示

皆さんご入学おめでとうございます。ご列席のご家族の皆さん、誠におめでとうございます。

私達教職員と在学生は、皆さんの入学を心から歓迎し、皆さんが福山大学の一員となってくれた事を嬉しく思います。私達は、皆さんが福山大学でより一層勉学に励み、人間的に成長していく事を期待しています。

福山大学は創立以来33年目を迎え、卒業生総数はおよそ3万人に達しています。皆さんご存知の通り、本学は5学部14学科を擁する総合大学です。皆さんは、それぞれの分野で特色ある教育を受け、卒業の時点までに、社会に役立つ人材として育つ事が期待されています。

さて、本日は、新入生の皆さんを迎えるにあたって、卒業までの4年間乃至6年間が長いようでありながら、実は瞬く間に過ぎ去る大切な時間であるという事についてお話ししたいと思います。

紀元前4世紀頃の中国の戦国時代に書かれたと言われている「莊子」という書物には、「人の天地の間に生きるは、白駒の隙を過ぎるが如く、忽然たるのみ。」と書かれています。すなわち、「人間がこの世に生をうけるのは、ちょうど白馬が戸の隙間を走り過ぎるように、ほんのつかの間に過ぎない。」と述べているのです。この後に「誰もが、水の湧き出すように生まれ出たと思うと、水が引くように消え去っていく。自然の摂理によって、

生まれた者は必ず死んでいく。」と続いています。

「莊子」では、この短い人生が、だから儚い<sup>はかな</sup>と言っているのではありません。人の生死は、形あるものが形の無いものへ移り変わるだけで、自然の中では問題にするほどの事ではないと言っています。

しかしながら、私達に与えられた生ある時間は、ごく限られた短い時間であることに変わりはありません。まして、大学における4乃至6年間は、皆さんの人生の中で最も大切な限られた時間です。この大切な時間の一分一秒を無駄にしないで有効に使うことによって、皆さんのその後の人生はより豊かなものになるのです。

福山大学の創設者である故宮地茂名誉総長は、本学の建学の精神として「全人教育」という言葉を挙げています。その意味は、本学のウェブサイトにも示されているように、「大学の価値は入学試験の難易度で示すのではなく、どのような教育を行うかによって評価するべきである。学問にのみ偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重した調和的な全人格陶冶を目指す全人教育が必要である。」ということです。すなわち、全人教育とは、知識を詰め込む教育だけではなく、人格形成を尊ぶ教育を大切にしようということであり、知育と徳育のバランスの取れた教育を行うということです。だからこそ、本学では、学

生諸君に、キャンパスで人に出会ったら、誰に対しても大きな声で挨拶をしましょうという運動をしています。

全人教育の一方の柱である知育については、現在大幅な教育システム改革を検討しており、皆さんの在学中に福山大学独自の特色ある教育システムを構築する予定です。この教育システムでは、皆さんが卒業する時点での実力を、各学部で教育目標として掲げ、その目標に向かって教育プログラムを整備します。この教育システム開発を全力を挙げて進めていきたいと思っています。

皆さんの在学期間は短いものではありませんが、時を大切に、この全人教育を着実に身につけていけば、必ずや実り多いものになるはずです。時は待ってくれません。必要な勉強、必要な仕事は、今すぐに実行するという習慣をつけましょう。「あとで」とか、「あした」とか言っているとたちまち1月も1年も経ってしまいます。一時の遅れは一生の損につながります。

皆さんが、「白駒の隙を過ぎるが如く」短い在学期間を、有効に過ごして、豊かで実り多いものにしてくれることを期待して、告示と致します。

平成20年4月6日

福山大学 学長 牟田 泰三



# 学習に取り組む前に

## 楽しく勉強しよう

### 経済学部

ご入学おめでとうございます。大学で生活し勉強し人間関係を維持してい



く上で「対話」が大切です。

ゼミでは特に対話が大切です。

左の写真はゼミ風景です。

勉強するうえで大事なことは、学ぼうとする謙虚さと手間を惜しまないことです。なかなか難しいことですが、目標として心に留めていただければと思います。

授業中は、教科書や資料があれば、要点を筆記しておきましょう。予習復習の際には、関連部分についての文献

もインターネットで調べましょう。興味のあることに会い、楽しく勉強できるでしょう。

福山大学では、授業への出席を大事にしています。授業と部活動との両立を図ってください。

そのためには、くれぐれも健康に気を付けて、食事と睡眠を適度にとるよう心がけてください。

税務会計学科 教授 泉 潤慈

## やればできる！何事もチャレンジ精神で！

### 人間文化学部

ようこそ、新入生の皆さん。広大で自然が豊かなキャンパス。新しい環境はいかがでしょうか？今はまだ、暗中模索の状況かもしれません。そのような皆さんに私から贈る言葉は「やればできる！何事もチャレンジ精神で！」です。というのも、学生の諸君から「失敗したらどうしよう」「○○しなきゃいけないんですか？」と、何か行動を起こすことに後向きの発言を聞くことがよくあります。残念です。4年間は「あっ」という

間です。何もしなくても、「あっ」という間です。この大学という新しい学びの



場で、心機一転、挑戦してはいかがですか。今までやってきたことを深めることはもちろん、背伸びしたり、大きな(小さくてもいい)目標をもつのもいいでしょう。「やりましょう」チャレンジです。ぜひ「○○しようと思いますが、…」という相談を待っています。

でも、やるのは「あなた」です。

メディア情報文化学科

教授 三宅 正太郎

## 実り多き青春時代を

### 工学部

皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。私たち教職員一同、皆様を心から歓迎致します。美しい桜の花も皆さんのご入学を喜んでいるように見えます。

これから始まる大学生活について、皆さんはどのように考えているのでしょうか。

工学部では、専攻した学科の教育目標と内容が明確になっていると思います。将来、技術者として、また、研究者や教育者として社会で活躍していくための教育が、これから始まります。

一方、大学生活では、自分で計画し

て過ごす時間が十分あります。名所を訪ねて旅行するのもよいし、サークル活動に打ち込むのもまたよいでしょう。古今東西、良書とされている作品もぜひ読んでいただきたいと思います。大学生活での出会いは、きっと生涯の宝になるものと思います。

「求めよ、さらば与えられん。」自身の目標や資格取得に挑戦し、分からないところは教職員に遠慮なくたずね、有意義で実り多き青春時代を過ごしていただくことが、私たちの何よりの願いです。

最後に、「誠実」は百行の基、健康は万事の礎」の言葉を贈らせていただき、お祝いのメッセージとさせていただきます。

情報工学科 教授 清水 光



## 創造力を磨け

### 生命工学部



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。生命工学部では、皆さんが、「遺伝子、細胞、生物の基礎と応用」、「食を通じて人の健康を保つ、改善する」、「海の生物を探る、育てる、守る」、をバイオサイエンスという共通の基盤の上に修得し、社会に貢献できる人材となるように、教育します。

とは言っても、受け身ではだめです。大学を卒業すると、仕事において自主性と、社会のニーズに答えることを強く求められ、その対価として給料が支払われます。大学では、記憶力だけに

頼らず、自ら興味を持ち、実現可能な目標を掲げて、情報を収集し、方法を組み立て、実行してください。失敗にめげず、小さな「できた」の積み重ねをすることで、創造力を養い、大きな自信をつけてください。

まずは、授業と実験に遅刻、欠席をせず、集中し、良く観て、自主的に試み、ノートを取り復習をし、質問もしてください。

生命栄養科学科

教授 山本 英二

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活に、そしてさらなる未来に大きな夢と期待を持って入学されたことと思います。6年間という長いようで短い大学生活を充実して送り、社会の要請に十分応えられる基礎にも臨床にも強い薬剤師・薬学研究者に成長されるよう少々アドバイスをしたいと思います。その第1は「大学での学習は積極性・自主性を大切に」することです。これまでの学生生活と異なり、何事にも自ら行動することです。大学では「どのような科目を履

修していくか」の計画は、自分で立てなければ全く進みません。第2として「少しでも興味ある・価値ある情報を見分け、吸収」することです。薬学を含む多くの医療情報はもちろんですが、社会の要請などにも注意を払ってください。第3としては「熱心に辛抱強く行動」する事です。6年の間に多くの教科やその試験、また4年次には国家試験的な科目試験や調剤などの実技試験があり、それに合格して病院・薬局実習が始まります。さらに6年次生の終わりにある薬剤師国家試験に対し、合格の栄冠



を獲得しましょう。

皆さん、ぜひ、医療人の一人として薬剤師・薬学研究者として成長するよう頑張ってください。

薬学部 教授 森田 哲生

## 特集

## リニューアルする生命工学部

### 生命栄養科学科 新設される



近年、生活習慣病の予防が国民の健康維持の上で大きな課題となっています。生活習慣病の原因は環境因子と遺伝因子とからなり、環境因子のうち、食事は最も大きな因子です。したがって管理栄養士が行う栄養指導に必要な食品の機能性の理解においても、また遺伝子多型に対応したテーラーメイド型栄養指導においても、食品

科学や生命科学の知識は必須です。さらに、遺伝子組換え技術等の新たな技術開発と残留農薬に代表される食を取り巻く複雑な状況にあって、食の安全・安心を実践するためには、そのリスク管理や安全性の評価手法などについて精通しておく必要があります。このような背景のもと、私たちは新しい栄養学として、生命科学と食品科学を基礎とした生命栄養科学を提唱し、21世紀に求められる管理栄養士の養成を目指しています。生命栄養科学科で学んで健康づくりに貢献しましょう。

### 海洋生物科学科への名称変更 コース制の導入と特色ある教育研究の展開

本学科は、平成10年に海洋生物工学科として開設されて以来、一貫して有用海洋生物資源の利用と海洋環境の保全とを両立させる、「海と人間の共生」を目標としてきました。平成20年度からは、この目標達成のため海の生物や環境に対してさまざまな角度から科学的にアプローチするという、本学科の特色をより明確に表すという趣旨で、学科名称を「海洋生物科学科」へと変更しました。さらに学習や進路の目標を明確化しやすいように、3年次以降に次の3つのコースを導入しました。「資源利用育成コース」では、海洋生物資源の効率的な生産方法の確立を目指し、魚介類の健全な飼育や育種技術の開発に取り組みます。「フィールド生態環境



学科内に展示されている海水魚のアクアリウム

コース」では、瀬戸内海をフィールドとして、海の環境と生態系を守りつつ、そこから海洋生物資源を持続的に利用する、いわゆる「里海」の再生をテーマとします。「アクアリウム科学コース」では、水槽中での水生観賞生物の飼育・繁殖

法や水質管理技術を開発するとともに、海と人間の共生の大切さを社会に対して啓発できるような展示方法を考えていきます。

海洋生物科学科 講師 山岸 幸正



# キャンパスライフへの指針

## 「生きる力を育む」ために

教務委員長

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。希望と期待に胸を膨らませて入学されたことと思います。

皆さんはこれからの大学生活で色々な体験をすることになると思いますが、まずは教員や友人との対話を通して知的に向上することの喜びを感じながら他人との接し方を学び、役立つ自分を認識して、自信を持って自分を好きになってほしいと思います。そして、同じように他人を好きになり、生きていてうれしいという思いを実感し将来に亘っての生きる力を培ってほしいと思います。本学では、建学の理念「人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育を行う」にかなう人として育てもらうために、次のようなカリキュラムや制度を用意しています。

**【一般教育科目と専門教育科目】** 一般教育科目は、皆さんに教養を備え、創造性豊かな人間に育てもらうためのもので、一般科目と外国語科目があります。専門教育科目は各学部学科で特徴ある科目として開講されており、特に薬学部では6年制となつてから新しい教育

方法が取り入れられています。学生の皆さんは講義と演習や実習を履修し、さらに卒業論文・卒業研究を通して本学の価値観を基準とした「問題発見能力」「問題解決能力」や「コミュニケーション能力」を養っていくことになります。

**【教養ゼミ】** 各学部学科の教員に1年次生が少人数で配属され、種々のテーマでの語り合いなどが行われます。教員と対話する機会が増えますので、会話が弾んでくれることを願っています。

**【教養講座】** 色々な分野の専門家に講演していただくもので、その中で、皆さんには今からの人生を生き抜く知恵を学んでほしいと思います。

**【授業公開】** 一般の社会人も一部の授業を受講できるようになっています。人生経験豊富な社会人とも知的好奇心をもって積極的に交流し、視野を広げてほしいと思います。

**【資格取得】** 教員免許など種々の資格が取得できるようなカリキュラムを設定しています。英語検定、漢字検定、簿記検定などの受験の便宜も図っています。

**【単位互換制度】** 福山平成大学と単位互換協定を結んでいます。また、カリフォルニア大学(米国)とは姉妹大学協定を、中国の対外経済貿易大学、首都師範大学、貴州師範大学など7校とは学術教育交流協定を結んでおり、これらの国外の大学へ留学することにより一部の科目の単位が認定されます。

**【進級・卒業】** 本学では学年制が設けてあり、進級・卒業するのに定められた単位を取得することが必要です。

その他、インターンシップなどいろいろな制度が用意されています。カリキュラムや制度については「学生便覧」に詳しく記載されていますが、不明な点はクラス担任・教養ゼミ担当教員や教務課に相談してください。

皆さんの日々の意識の持ち方ひとつで大学生活は大きく変わります。まず一歩動き出すことで始まり、継続することで自信へとつながります。皆さんが明日の自分を信じる力を培ってくださることを願っています。

薬学部 教授 鶴田 泰人

## 楽しく充実した学生生活を

学生委員長

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはこれから福山大学で学生生活をスタートしますが、まず一日も早く生活の基盤を整えて、生活リズムの確立を目指してください。また、4月8日からの新入生合宿オリエンテーションでは、これから一緒に学生生活を送っていく仲間達や先生方との交流を大いに深めてください。在学中は、福山大学生として大いに青春を謳歌して、充実したキャンパスライフを送っていただきたいと思います。

しかし、そのためには大学のいろいろなルールを遵守し、学生生活を通じて各自のモラルを向上させることが極めて大切になります。以下に、学生生活に関連する基本的な事項を説明いたします。



**【学生証】** 入学時に配布された学生証は、皆さんが福山大学の学生であることを証明する唯一のものです。各種の証明書の発行や定期試験の際に必要で、万一紛失した場合は学生課で再発行の手続きをしてください。もちろん、学生証の貸し借りは禁止されています。

**【通学方法】** 皆さんの通学は、主にJR松永駅からのスクールバスやJR福山駅からの直行バスを利用することになります。バスの利用が困難な場合には、車両での通学も許可される場合がありますが、詳細については学生便覧の「車両通学細則」の項を熟知し、その上で学生課に相談してください。車両通学の際は、絶対に交通事故を起こさないように充分注意してください。定期券(JR通学など)の購入を希望する場合は、通学証明書を学生課に申請してください。当然のことですが、アルバイト目的の通学証明書は発行されません。また、JR学割証も学生課に申請してください。学割証の貸し借りは厳禁です。

**【奨学金制度】** 奨学金制度には、日本学生支援機構や福山大学関係奨学金制度などがあります。詳しくは学生課

に問い合わせてください。

**【禁煙】** 本学は、建物内は禁煙です。所定の場所でマナーを守り、キャンパス美化に協力してください。

**【学友会】** 学生の皆さんの組織である学友会には、50を超える文化系・体育系サークルや同好会があります。できるだけ積極的に参加して、仲間の輪を広げ、大いに活躍してください。

以上のことを含めた学生生活全般については、学生便覧の「学生準則」、「車両通学細則」、「学生生活の心得」の項に示されています。これらの規則に違反した場合は、懲戒処分(訓告、停学、退学)の対象になることがあります。

なお、大学から皆さんへの連絡は掲示によって行われます。全学的な事項は1号館掲示板に、また学部・学科別の掲示板もあります。

学生生活に関するさまざまな問題については、皆さんのクラス担任の先生やゼミ担当の先生が相談に乗ってくれます。遠慮することなく、何事も早めに相談して解決することが大切です。

皆さんのキャンパスライフが、多いことを心から期待しています。

薬学部 教授 澁谷 博孝

新入生の皆さん入学おめでとうございます。日本はグローバル化が相当進んでいます。外国語は厳しいグローバル化社会を生き抜いていくうえで、益々必要とされてきています。大学生の間に外国語をしっかりと身につけましょう。福山大学ではカリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)及び中国北京市の對外経済貿易大学(UIBE)と協定を結んでおり、それぞれ18回の集中英語研修、4回の集中中国語研修を行っています。研修に触発され、さらに長期

の研修に参加した学生もいます。夏季集中語学研修は単に語学力を高めるだけでなく、米国と中国の異文化に接することによって、国際感覚を身につけることができます。両研修とも8月の夏休みに約1ヶ月間行います。詳細は学部の掲示板または福山大学ホームページ (<http://www.fukuyama-u.ac.jp>) の国際交流のパナーをクリックしてください。多くの学生諸君の参加を望んでいます。

薬学部 教授 赤崎 健司



写真 2007年度UCR集中英語研修

## 図書館で新聞、雑誌の活用を !!

## 附属図書館



最近読んだ本に、師とは何かを扱った、四方田犬彦(1953年生)の長篇評論『先生とわたし』(新潮社、2007年7月)と山折哲雄(1931年生)『親鸞をよむ』(岩波新書、2007年10月)がある。

四方田犬彦『先生とわたし』は、雑誌『新潮』2007年3月号に掲載されたものである。山折哲雄『親鸞をよむ』は、「あとがき」に『悪と往生』(中公新書、2000年1月)、『親鸞の浄土』(アトデ・イ、2007年8月)と共に「親鸞」三部作とある。師理解の難しさを説く。

私は、四方田犬彦『先生とわたし』を雑誌『新潮』でまず読み、その後で単行

本を読んで、両者の違いに気付き、興味を覚えた。『親鸞をよむ』の著者、山折哲雄氏の名は、宗教学者でありながら著書が100冊を超えることもあって、新聞、雑誌等で目にしていた。

なお、四方田犬彦氏の著書は、新聞の書評、山折哲雄氏の著書は、四方田犬彦氏の著書でも取り扱われている。

経済学科 教授 片岡 俊郎

## 心身ともに健康な学生生活を

## 保健管理センター

新入生の皆さん、いよいよ新しい環境での生活が始まります。でも、時には心身に異常を感じる場合もあると思います。そのような時は、気軽に保健管理センターを訪ねてください。

保健管理センターでは、以下の業務を行っています。

### 1. カウンセリング

2名のカウンセラー(臨床心理士)が、皆さんの相談に応じます。気軽に、どんな悩みでも相談してください。

### 2. 疾病・外傷等の応急措置

学内での急病や不慮の障害が生じた場合は、すぐに保健管理センターに連絡してください。内科医と看護師が応急処置の他、必要に応じて専門

医療機関への紹介を行います。

なお、学内での教育・研究活動中や課外活動中の災害・事故により障害を受けた場合は、学生教育研究災害保険が適用されます。

### 3. 定期健康診断

毎年、春と秋に定期健康診断を行います。各自の健康状態を把握する上で大切ですので、必ず受診してくだ



さい。定期健康診断で異常が認められた場合は、再検査を行い、これに対処した保健指導を行います。

保健管理センターは皆さんの心身ともに健康で、楽しく充実した学生生活を、応援しています。

## パソコンとインターネットを使いこなそう

## 情報処理センター

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、これから新しい大学生活をスタートすることになり、期待に胸をふくらませていると思います。現在では、大学における情報教育も、皆さんが大学を卒業して社会人として活躍していく上で必要不可欠になっており、大変重要なものになっています。

現代社会においては、情報化の発達とともに、パソコンやインターネットの活用がますます重要になっています。

情報リテラシー教育はもちろん、各学部・学科における専門教育においても、コンピュータやインターネットを利用する機会が多くなっています。学内では、多くのパソコンが設置されており、高速通信回線を通して、インターネットを利用することができます。このような状況から、インターネット上でのマナーが重要になっています。サーバ上で不正アクセスや不適切な使い方などが厳しくチェックされています。

情報モラルを守ってコンピュータやインターネットを使いこなして下さい。

情報処理センターは23号館の3階にあります。そこでは、パソコンや情報コンセントなどが利用できます。授業以外でもこれらの設備を自由に利用することができます。情報処理センターを積極的に利用して下さい。情報処理センター一同、皆さんを応援しています。

電子・電気工学科 教授 三谷 康夫



4年次生の皆さんは、今就職活動の渦中にあると思います。2月の中旬に福山ニューキャッスルホテルで福山大学主催の合同企業説明会が行われて以降、種々の合同企業説明会・企業説明会に参加されていると思います。就職活動は、皆さんにとって、今までの人生の中で、「主体的に自ら情報を得て、自ら企業を訪問し、コミュニケーションを取り、その会社の良否を判断し、次のステップに進む」という、慣れない体験かもしれません。慣れないゆえに皆さんは戸惑うことも多いと思われる。しかし、皆さんが現在行っている、「自ら情報を集め、行動し、判断する」という就職活動は、職場で人が仕事をして行く上で基本となる行動パターンそのものなのです。以前は、現在行われているような自由応募ではなく、大学への求人依頼や、大学の個々の先生への求人依頼が中心で、学生にとって受身的な就職活動でしかありませんでした。しかし、その形態が大きく崩れたのは、平成初期のバブル崩壊後の就職氷河期でした。この頃から企業は、

多くの人材から能力のある新入社員を選抜できる自由応募制に切り替えました。さらにこれを加速したのはインターネットの著しい発達でした。

この2・3年、景気の回復や、団塊世代の大量の退職等で、企業の求人が大幅に増し、現在では業種による差異はあるものの、ほぼ全面的に売り手市場になっています。しかし企業の求人方法は、バブル崩壊以前の求人体制には戻っていません。何故でしょうか？それは、企業にとって自由応募制の方が大きなメリットがあるからです。すなわち、今の就職活動そのものが、今後職場で仕事をして行く上での基本行動だからです。企業は、新入社員に対して、就職活動中にこの能力を充分身につけた上で入社してもらいたいと期待しているのだと思います。今まで体験したことのない就職活動を通して新たな能力をぜひ身に付けて下さい。この能力が就職活動中に身に付けば付くほど、社会に出て仕事に役立つことと思います。

さて、4年生の皆さんは、現在合同



企業説明会や会社説明会に参加し、より多くの企業にエントリーし、選抜試験に臨んでいることでしょうか。エントリーは多ければ多いほど良いでしょう。またそのグレードも種類が多ければ多いほど良いでしょう。将来キラリと光ると思われる企業を見つけて、果敢にトライしましょう。自ら情報を集め、行動し、判断して、自らの将来を掴み取って下さい。その力が身に付けば必ず皆さんの将来に役立つものと確信します。慣れないことでつらいでしょうが、慣れると楽しくなると思います。就職活動は、人生で一番多様な人と交わることができる絶好の機会だと思います。この機会をぜひとも自分の人生にいかして下さい。

## 学校法人福山大学 企業懇談会 盛大に開催される！

就職課

### —大学と企業との関係をより強固に—

恒例の福山大学・福山平成大学主催「企業懇談会」が、3月3日（月）、福山ニューキャッスルホテルで盛大に開催されました。

今春卒業生の就職内定状況は、2月末の推計値で97.2%に達し、最終の確定値は昨年の97.3%を超えることが確実な見通しになっています。雇用の拡大は確実に広がっています。

また、既に来年度の就職戦線も本番を向かい、採用活動の早期化と採用期間の長期化は常態化しています。そのため、企業の採用情報を常時把握する必要があります。この時期の企業懇談会には大きな意義があると考えています。

本年は、企業の積極的な採用姿勢を反映して197社、210名の方々がご出席くださいました。両大学からは、



理事長、学長を始め114名の教職員が出席し、総勢320名を越える大きなイベントになりました。

廣瀬順造就職委員長の開会宣言で始まり、宮地尚理事長・総長と両大学を代表して牟田泰三学長が挨拶を行いました。理事長は「このように企業の方々にお出でいただくことは大変意義のあることで感謝しています。他方、大学の方からももっと企業に出向いて行って、企業の実情を学び、それを学生の教育に生かしていく必要があると常々思っており、今後は積極的に進めて参ります。」、また学長は「大学は『研究』と『教育』の場とされてきたわけですが、これからは『社会』というもう一本の柱が重要です。この三本目の柱をしっかり打ち立て大学としての役割を果たしていくことを、皆様にお約束します。」と、それぞれ決意を述べました。続いて、田中光洋池田糖化工業株式会社取締役人事管理部長のご発声で乾杯が行われ、懇談に入りました。

また、福山商工会議所会頭の菅田泰介様からは、「福山の産業は確実に成長、発展を続けており、それを支えるには先ず人材の確保である。また現在

福山大学と進めている産学連携も大きな役割を担っている。地元産業界の福山大学に対する期待にぜひ応えてもらいたい。産業界も福山大学への支援を惜しみません。」と、力強いエールを送っていただきました。

懇談会では、特に採用担当者から、人材や人員の確保が難しくなっているとの話が多く出されました。少子化と大量退職、若者の都市への流出や集中化の進行、さらに理科離れが進む教育の問題など、さまざまな要因がその背景にあって、その影響が地方の企業、とりわけ製造業に現れていると言えるでしょう。備後経済圏は“ものづくり”の集積地であるだけに決して看過できない問題であり、両大学の責任と役割の大きさを認識する貴重な機会となりました。

懇談会では、終始、和やかな中にも真剣な意見交換が行われ、大学と企業双方の出席者が懇親を深め、盛会のうちに終了しました。

ご多用の中ご出席くださいました企業の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

平成21年3月卒業見込者を対象とする福山大学「合同企業説明会」が次の日程で行われました。

### 第1回

日時 平成20年2月19日

場所 福山ニューキャッスルホテル

参加企業 87社

### 第2回

日時 平成20年3月10日・11日

場所 福山大学 大学会館

参加企業 1日目81社・2日目82社

本年の合同企業説明会には、11・12月の早い時期から参加の申込みや問い合わせが多くあり、多数の参加が予測されたため、第2回の学内(大学会館)での受入れを大幅に増加させることにして、2日間の日程を確保しました。

また、第1回の開催時期についても、早期化が進む産業界の動向からは時期が遅いという状況にあります。教育機関としての大学の主旨を最優先とする立場から、従来どおりの実施時期としました。この基本原則は今後も堅

持していきます。

このように受入れ企業の数に大幅に増やしましたが、最終的には参加を希望する全ての企業を受け入れることができず、案内を出せなかったり、お断りをしたケースも生じて、ご迷惑をお掛けすることになりました。この紙面を借りてお詫び申し上げます。

参加企業は、地元企業を中心に関東以西の広範囲にわたり、第1回が87社、第2回が各81社と82社、延べ250社(実数223社)に及びました。

学生の参加は、第1回が約450名、第2回が併せて約350名で、特に第2回の参加は予想を大幅に下回りました。各企業の採用活動がすでに始まっていることと、募集形態も多様化していて、日程の都合がつかない人も多くいたようです。

かつて合同企業説明会は、就職氷河期といわれていた時期に、各大学が学生の就職活動の場を確保し、提供することを目的に始められました。学生に



としては貴重な活動の場でした。しかし、雇用の回復が図られ、拡大している今日では、学内説明会の役割も変わりつつあります。

とはいえ、学生の就職活動に費やす時間と経費は、個人差はあるものの計り知れないものがあり、その軽減とともに学業の時間を確保する観点から、学内説明会の改善・工夫が必要であると考えます。

なお、本年は今後、業種・業界別の「ミニ合同企業説明会」や「単独会社説明会」を適時展開し、学生の就職活動を支援していきたいと考えております。早期の内定獲得に向けて一層の奮闘を期待しています。

## INFORMATION インフォメーション

### 第4回 お花見／トレジャーハント 2008 人間文化学部主催 コンサート In Action 2008 開催

人間文化学部および福山大学の文化活動の紹介行事第一回「お花見コンサート」(2006)として始まった人間文化学科の地域交流行事は、今年度「お花見コンサート／トレジャーハント2008」と題して、高校生や地域の方に福山大学の「文化の宝」を探し出してもらうという行事を取り入れてリニューアルしました。人間文化学科行事「IN ACTION 2008」は大学祭との同時開催になり、一新されます。

日時 2008年4月12日(土)

13:30~16:00

場所 福山大学大学会館ラウンジ  
および1号館、19号館

行事 13:30~14:30

吹奏楽部、管弦楽団によるコンサート

14:30~16:00

1号館・19号館での宝探しゲーム・

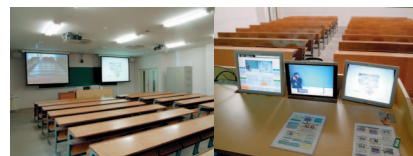
研究室紹介

同時に大学会館ラウンジで、各学科

の展示、美術部の展示を行います。

また施設の見学もできます。

### 新しい教室： 遠隔講義システムが完成 サイバーキャンパス事業



福山大学では、文部科学省サイバーキャンパス整備事業の採択を受け、学内外の環境づくりなどを進めています。

遠隔講義システムが2007年11月から運用を開始しました。このシステムは、福山大学1号館01206号教室と福山平成大学の03101号教室とを結んで二つの教室がスクリーンを通して一つの教室になる遠隔講義システムです。

講義室間では、高精細映像(1280\_960画素、7.5フレーム/秒)と、通常のテレビ品質の映像(640\_480画素、30フレーム/秒)および音声を送信しています。講師の板書内容をそのまま撮影して伝送する他に、書画カメラで撮影した資料やPC画面を送信するために用います。遠隔教室で2枚のスクリーンに投影することとしています。1280\_960の解像度があれば、遠隔地の学生でも板書内容を十分読み取ることができ、講師も遠隔講義を意識せず通常と同様の講義を行うことができます。

### 福山大学構内に欧州・フランスの香り漂う バスシェルターが誕生(予定)

2008年春を目標に、日本の大学で最初に、福山大学構内の中心部にヨーロッパの美しい街並みの景観を大切にした、ストリート・ファニチャー(街の景観美化)の思想を持つ停留所がお目見えします。

これは欧州・フランスに所在する都市景観に配慮したバスシェルターが原型であり、福山大学の学生が毎日の通学で乗り降りする構内のバスの停留所に、

綺麗でおしゃれなデザインの「広告パネル付きバスシェルター」を設置しようという発想から、半年前から準備してきたものです。



福山大学 キャリアセンター長  
経済学部 准教授 中村 博



## 定量PCR装置の高精度化に成功

—(独)経済産業研究所等主催 クラスター・シンポジウム出展—

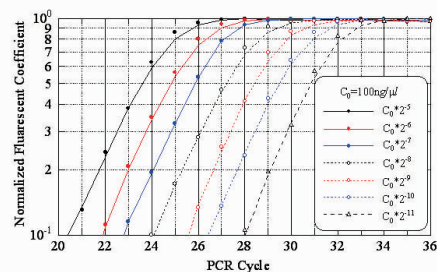
PCR (ピー・シー・アール)。教員、学生を含めて恐らく半数近くの方が何らかの反応をされるのではないのでしょうか。PCRとはポリメラーゼ連鎖反応 (Polymerase Chain Reaction) の略記で、DNAの熱変性と酵素反応を利用して、目的とするDNAだけを短時間で選択的に100万倍以上にも増やすことを可能とした反応原理や手法のことをいいます。この手法は医療、薬学、生物学、食品検査、犯罪捜査のDNA鑑定など、生物に関わる分野に恩恵をもたらした、画期的、革新的な大発明といわれています。これは、発明者キャリー・マリスが発想から僅か10年後にノーベル化学賞を受賞した

ことでお分かりになると思います。PCR法の意義や誕生にまつわる逸話は福岡伸一先生の著書「生物と無生物のあいだ」に面白く、わかりやすく記されていますので、詳細はそちらに譲ります。

さて、定量PCR装置とは、PCR反応に、増加するDNAの量をリアルタイムで測定する機能を加えた装置を言います。定量の方法としては、DNAに取り込まれた蛍光色素からの蛍光量を計る方法が用いられます。計測能力を持たせることで、単なるDNAの増幅や目的のDNAの有無を判断するだけでなく、検体の中に含まれていた目的のDNAの初期量が判るので、病原

菌に対する治療効果なども定量できます。各種の感染症や食品の偽装問題が話題となる今日では有意な装置と言えますが、既存の装置の性能は不十分でした。

そこで、平成16年度に生命工学部生物工学科の山口泰典教授をプロジェクトリーダーとして、定量PCR装置の高精度、高機



開発装置で検出した PCR 増幅曲線

能化を目的とする産官学の研究グループが発足しました。平成17、18年度には、経済産業省の地域新生コンソーシアム研究開発事業に採択され、地元企業5社および東部工業技術センターと共に本格的な研究開発が開始されました。

開発装置の特徴は山口教授が提案したドーナツ状の反応槽にあり、この構造により、半永久的、連続的に検体の処理が可能となります。一方、計測部においては、検体からの僅かな蛍光を精度良く検出する技術が重要となります。開発期間において、光学設計、電磁雑音対策、信号処理系に工夫を凝らし、今年度、目標性能に達しました。

これを受け、2月4日広島市内にて(独)経済産業研究所等が主催しました、クラスター・シンポジウムに開発装置を展示公開しました。50件の技術発表の内、唯一の大学出展でしたが、実機の実演に高い関心が集まり、城納広島県副知事を初めとする約100人の訪問を受けました。2年以内の製品化が今後の目標です。

電子・電気工学科

教授 香川 直己



展示中の開発装置

## 平成19年度 日本薬学会中国四国支部学生奨励賞受賞

薬学研究科医療薬学専攻修士課程1年の武良卓哉君が、日本薬学会中国四国支部より学生奨励賞を受けました。受賞対象は2007年11月10日に第46回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会で発表した「4,5-ジメトキシフタルアルデヒドを用いるサルファ剤の蛍光分析法に関する基礎的検討」です。

サルファ剤は抗菌剤として畜水産物の感染症治療及び予防に広く用いられ

ていますが、サルファ剤の畜水産物への残留や畜水産物からの排泄などにより、人体への影響が懸念されていることから、畜水産物や環境中のサルファ剤の高感度測定が求められています。

今回の発表では、4,5-ジメトキシフタルアルデヒドを用いて、サルファ剤を蛍光誘導体に導いて高感度に測定する蛍光分析法を提案し、これが食品中に残留するサルファ剤の定量への応用に期待できるものとして評価されました。

【指導教員】

薬学部 教授 鶴田 泰人



学生奨励賞の賞状を持つ武良卓哉君

# 学友会サークル紹介

●サークル名,顧問名(所属)  
●年間の主な大会・行事

## 体育系 (42サークル)

●陸上競技部 鶴崎 健一(税務会計)  
●中国四国学生陸上競技選手権大会  
●中国四国学生駅伝競走大会

●サッカー部 吉田 卓史(経済)  
●広島県学生サッカー連盟リーグ戦  
●中国学生サッカーリーグ戦

●硬式野球部 上迫 明(経済)  
●中国六大学野球春季・秋季リーグ戦

●ラグビー部 伏見 浩(海洋)  
●広島県リーグ戦

●軟式野球部 梅田 眞三郎(建築・建設)  
●西日本地区学生軟式野球リーグ戦

●硬式庭球部 久富 泰資(生物)  
●広島県大学庭球選手権大会  
●中国四国学生テニス選手権大会

●ソフトテニス部 新谷 敏朗(情報)  
●中四国学生ソフトテニス選手権大会  
●中国学生ソフトテニス選手権大会

●バスケットボール部 原口 博行(生物)  
●広島県学生バスケットボールリーグ戦  
●中国学生バスケットボール選手権大会

●バレーボール部 足立 浩一(国際経済)  
●中国四国学生バレーボール選手権大会  
●中国大学バレーボールリーグ

●卓球部 千葉 利晃(情報)  
●中国学生卓球選手権大会

●バドミントン部 真鍋 圭司(機械)  
●中四国学生バドミントンリーグ戦  
●広島県学生バドミントン選手権大会

●剣道部 香川 直己(電子・電気)  
●中四国学生選手権大会  
●西日本学生剣道優勝大会

●柔道部 大橋 一慶(薬)  
●中国四国学生柔道体重別選手権大会  
●中国四国学生柔道優勝大会

●ワンダーフォーゲル部 清水 光(情報)

●空手道部 中山 昭夫(建築・建設)  
●広島県大学空手道選手権大会  
●西日本大学空手道選手権大会

●合気道部 掛江 正造(経済)  
●中四国学生演武大会  
●全日本合気道演武大会

●少林寺拳法部 地主 弘幸(環境情報)  
●少林寺拳法広島県大会  
●中国四国学生少林寺拳法大会

●実践空手道部 里内 清(応用)  
●全日本オープン選手権大会

●弓道部 井上 達雄(機械)  
●中国学生弓道選手権大会  
●西日本学生弓道選手権大会

●ゴルフ部 藤岡 照夫(国際経済)  
●中国学生ゴルフ対抗戦  
●中四国学生ゴルフ選手権大会

●二輪部 河原 栄二郎(海洋)  
●ツーリング  
●ジムカーナ

●スキー部 富田 武満(建築・建設)  
●広島県学生スキー選手権大会

●ボウリング部 山口 泰典(生物)  
●中四国学生リーグ戦  
●西日本学生ボウリング選手権大会

●水泳部 小林 正和(経済)  
●中国四国学生水泳選手権大会

●ユースホステル部 田中 聡(電子・電気)  
●サマーキャンプ  
●各種ホスティング

●ボート部 無漏田 芳信(建築・建設)  
●中国学生漕艇選手権大会  
●朝日レガッタ

●ボードセーリング部 片岡 俊郎(経済)

●自転車部 足立 浩一(国際経済)  
●MTB 5時間耐久レース

●ビリヤード同好会  
足立 浩一(国際経済)  
●西日本学生選手権大会

●ダンス部 三宅 幹子(心理)

●キャラバン部 三谷 康夫(電子・電気)

●躰道同好会 梅田 眞三郎(建築・建設)

●バレーを愛する会 重迫 隆司(人間文化)

●ソフトボール同好会 原 千史(人間文化)

●アウトドア同好会 小野 泰(建築・建設)

●フットサル同好会 三宅 正太郎(メディア情報文化)

●女子バレーボール同好会 筒本 和広(経済)

●女子ソフトボール同好会 足立 浩一(国際経済)

●三蔵太鼓を打つ会 占部 逸正(電子・電気)  
●各種演奏会

●自動車部 中東 潤(機械)

●ストリートバスケット同好会 尾田 温俊(国際経済)

●競技ダンス同好会 西尾 正富(機械)

## 文化系 (23サークル)

●吹奏楽部 伊藤 祐一(税務会計)  
●定期演奏会  
●広島県吹奏楽コンクール

●管弦楽団 青木 美保(人間文化)  
●各種演奏会

●写真部 寺井 雅和(建築・建設)  
●写真展

●美術部 南 宏一(建築・建設)  
●美術展

●華道部 山本 覚(生物)  
●三蔵祭華展

●茶道部 山本 覚(生物)  
●三蔵祭茶会

●コンピュータ部 川久保 和雄(情報)

●演劇部 石丸 敬二(経済)  
●各種公演

●陶芸部 掛江 正造(経済)  
●作品展

●アマチュア無線 壺井 基夫(生物)

●電子・電気研究会 伊藤 祐一(税務会計)

●ESS同好会 中山 昭夫(建築・建設)

●映画研究会 重迫 隆司(人間文化)

●生命工学研究会 原口 博行(生物)

●海洋生物研究会 伏見 浩(海洋生物)

●会計・簿記研究会 小林 陽治(税務会計)

●ロボット研究会 木村 純壮(機械)  
●ロボットグランプリ

●サブカルチャークラブ  
重迫 隆司(人間文化)

●YRC同好会 佐藤 英治(薬学)

●漫画研究会 玉木 健弘(心理)

●Light Music Club 掛江 正造(経済)

●書道同好会 澁谷 博孝(薬学)

●さいころ.net 山崎 理央(心理)



## 学友会短信

### 【陸上競技部】

- 1月27日  
第71回中国山口  
駅伝競走大会
- 2月24日  
第11回岡山県ハーフ  
マラソン選手権大会  
準優勝 東 克幸(経済3年)  
第3位 正木 彬(工学研究科1年)  
第4位 片山 純吾(経済2年)
- 3月16日 第27回ふくやまマラソン 出場



### 【サッカー部】

- 2月28日～3月2日  
デンソーカップ  
チャレンジサッカー  
宮崎大会 中四国選抜  
戸田 進(経済3年)  
田中 大貴(経済2年)  
中島 徳洋(経済2年)  
岡本 彰泰(経済2年) 出場



### 【硬式庭球部】

- 2月29日～3月5日  
平成19年度  
冬季中国四国学生  
テニス選手権  
大会 出場



### 【実戦空手道部】

- 2月10日  
第13回全日本  
実践空手道  
オープン選手権大会  
優勝 杉谷 要介  
(メディア情報文化1年)



### 【バドミントン部】

- 2月22日～2月24日  
平成19年度  
広島県学生  
バドミントン  
新人戦大会 出場



### 【弓道部】

- 2月26日～28日  
第13回中四国  
学生弓道新人戦  
出場



### 【スキー部】

- 3月1日  
スキーツアー  
2008 開催



## 国際交流瓦版

- ◎福山松永ライオンズクラブ主催「第22回お茶会」へ呉静怡さん(人間文化4年・中国)が参加(11月4日)
- ◎JASSO学習奨励費追加受給者に李丹丹さん(国際経済2年・中国)ら4名決定(11月5日)
- ◎福山市立道上小学校への教育研究へ Tsvetelina Krumovaさん(人間文化3年ブルガリア), 牛波さん(国際経済2年・中国)がゲストティーチャーとして参加(11月20日・28日)



- ◎熱烈歓迎！中山大学外国語学院(中国)王賓学院長、徐愛紅教授が来訪、学術・教育に関する交流協定を締結、本学留学生と歓談し学内見学を終えた。(11月20日)
- ◎福山市立東村小学校へ国際交流授業への派遣講師 Mingchua Tatsaneeさん(人間文化3年・タイ)(6回連続・初回11月26日)



- ◎HIC奨学生交流会にPraew Boonpitakwongさん(人間文化3年・タイ)ら7名が全員出席(11月28日)
- ◎上海師範大学(中国)陸建非副学長らが来訪(12月13日)



- ◎広島地域留学生会総会・第2回親善スポーツ大会へ留学生18名, 日本人学生7名参加, 引率原, 八杉先生。(12月15日)
- ◎尾道高等学校へ修学旅行のための事

前学習授業への派遣講師, 王琲さん(人間文化4年・中国)ら9名, 引率趙先生。(1月17日)

- ◎Mingchua Tatsaneeさん(人間文化3年・タイ)が府中市生涯学習センター主催「Int'l Cooking」講師として再登壇(1月19日)
- ◎盈進中学校へ中国学習旅行のためのこと前学習授業への派遣講師, 留学生4名, 引率趙先生。(2月2日)
- ◎国際ソロプチミスト主催能鑑賞へ莫欣さん(UIBE交換留学生・中国)ら参加(1月20日)
- ◎留学生会主催による中国の旧正月を祝う「春節餃子パーティー」を開催, 本学留学生, 日本人学生, 教員, 一般市民が約50人参加して餃子を作り親睦を深めた。(2月18日)
- ◎外国人留学生を支援する会, ふくやま国際交流協会主催による第16回外国人留学生スピーチコンテストで, 優秀賞に「美しい地球を守ろう」を発表した干秀英さん(国際経済2年・中国)が受賞, 「中華料理が一番」と題して金鑫さん(国際経済3年・中国)も出場し熱弁をふるった。(3月12日)
- ◎対外経済貿易大学(UIBE)からの交換留学生関天夫さん, 徐一敏さん, 莫欣さんが留学を終え帰国の途に。(3月中旬)

## 平成20年度 主要行事日程予定表

4月1日(火)	前期(4/1～9/15)
4月4日(金)～9日(水)	学内オリエンテーション(在学生)
4月4日(金)～14日(月)	春期健康診断(学生)
4月6日(日)	入学式
4月7日(月)	学内オリエンテーション(新入生)
4月8日(火)～9日(水)	新入生合宿オリエンテーション・セミナー
4月10日(木)	前期授業開始
4月8日(火)	履修届提出締切(2～4年次生)
4月11日(金)	履修届提出締切(1年次生)
4月19日(土)	4年次生保証人との就職懇談会(薬学部)
5月15日(木)	開学記念日
5月20日(火)～22日(木)	教職員健康診断(特別健康診断を含む)
7月19日(土)	前期授業終了
7月22日(火)～31日(木)	全学前期定期試験
8月1日(金)	夏季休業開始
8月23日(土)～9月7日(日)	教育懇談会
9月15日(月)	夏季休業終了
9月16日(火)	後期授業開始 後期(9/16～3/31)
9月中旬～10月中旬	大学院入試(経済学・人間科学・工学・薬学研究科)
9月中旬～10月下旬	公開講座
10月17日(金)～20日(月)	大学祭(三蔵祭)・学長杯争奪競技大会
11月6日(木)～7日(金)	平成21年度推薦入学試験(A日程)
11月中旬	秋期健康診断(学生)

11月下旬	教職員健康診断(特別健康診断を含む)
11月29日(土)	3年次生保証人との就職懇談会 (経済学部・人間文化学部)
12月12日(金)	平成21年度推薦入学試験(B日程)
12月20日(土)	授業終了
12月21日(日)	冬季休業開始
12月27日(土)	仕事納め
12月28日(日)～1月4日(日)	年末・年始休業
1月5日(月)	仕事始め
1月10日(土)	冬季休業終了
1月13日(火)	授業開始
1月17日(土)～18日(日)	大学入試センター試験
1月24日(土)	3年次生保証人との就職懇談会 (工学部・生命工学部)
1月30日(金)	後期授業終了
1月31日(土)～2月3日(火)	平成21年度前期入学試験(A日程)
2月4日(水)～18日(水)	後期定期試験
2月19日(木)	平成21年度前期入学試験(B日程)
2月20日(金)～28日(土)	学部・学科別行事
3月1日(日)	春季休業開始
3月上旬	企業懇談会
3月14日(土)	平成21年度後期入学試験(全学部)
3月20日(金)	学位記授与式(卒業式)

### 【備考】

本予定表は全学的な関係行事に限定したものです。各学部・各部局・各委員会などについては、そのおののにおいて処理し、必要に応じて月間予定表に記載されます。

### 4月の行事

4月4(金)	オリエンテーション	【2・4年次生】
	春期健康診断	【2・4・院・男】
4月5日(土)	オリエンテーション	【3年次生】
4月6日(日)	入学式	
4月7日(月)	オリエンテーション	【1～4年次生】
	履修登録(OCRの提出)	【2～4年次生】
4月8日(火)	新入生合宿オリエンテーション	
	履修登録(OCRの提出)	【2～4年次生】
	春期健康診断	【2・4・院・男】
4月9日(水)	新入生合宿オリエンテーション	
	春期健康診断	【午前:2・4・院・男,午後:2・4・院・女】

4月10日(木)	授業開始	
	オリエンテーション	【2～4年次生】
	履修登録(OCRの提出)	【2～4年次生】
	春期健康診断	【1・2・4・院・女】
4月11日(金)	履修登録(OCRの提出)	【1年次生】
	春期健康診断	【午前:1年次・女,午後:1年次・男】
4月12日(土)	人間文化学部 「お花見コンサート」	
4月13日(日)		
4月14日(月)	春期健康診断	【1年次・男】

### 編集後記

万葉の桜 咲き染めて 春らん漫の…。思わず口ずさみたくなる三蔵の丘です。皆さんの入学式の頃、桜並木は入学を待っていたかのように満開になっている筈です。キャンパスは桜だけではなく、目に鮮やかな新緑、晩秋の紅葉、冬木立と四季を通して私たちを楽しませてくれます。この素晴らしい環境の中で、有意義な青春を送ってください。ご入学おめでとうございます。

発行 福山大学  
編集 福山大学広報委員会  
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵  
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>